

## 第3回議会報告会質疑応答記録（概要）

平成24年10月23日（火）午後7時から 高出地区

### 委員会報告

#### Q1 市民

・9月定例会報告第4号・5号の債権放棄及び不能欠損処理について、保育料や市営住宅使用料の過年度分の滞納が極めて多い。不能欠損にいたる経過はどうか。債権放棄は、法に照らし、報告ではなく議決すべきではないのか。

#### A 金子議員

・不能欠損は法にのっとり、一定期間を経て、回収不可能となったものを帳簿からなくすという処理である。

#### A 永田議長

・職員が怠慢で不能欠損となったわけではなく、市外へ転出し行方が分からなくなってしまった人や、死亡してしまった場合など、回収が不可能となったもののみ不能欠損としている。

・滞納整理については、収納課が個人の状況を聞く中で、分納等一生懸命にやっている。滞納者には経済的に厳しい方が多く、取立てに訪問するようなことも禁じられており、滞納整理に苦慮している。議会では、それでも何とかするようにはっぱをかけているが、思うように進まないのが現状である。

・債権放棄については、新たに市の条例ができ、これに基づき債権の放棄が行われた。会社倒産、自己破産等で、放置するとそのまま債権が残ってしまうことになる。

#### A 金子議員

・債権放棄の議決義務については、期間や金額により市長の専決がみとめられているということが法律の付則等であると思うが、これに基づき、行政が債権放棄すると判断し、議会は報告を受け、受理をしたという経過である。専決処分を受理しないと判断しても、市長は改めて議案として提出しなければならないというルールはない。地方自治法に定められた処理をしたと考えている。

市民（債権放棄の手続きに納得せず、専決処分は認められない）

#### A 永田議長

・本日、詳細な資料は持ち合わせておらず、不正確な回答はできないので、調査の上、後日回答する。

### 意見交換会

#### Q2 市民

・この道路（東通線）が狭く交互通行ができない。地区センターの交差点は事故が多い。北からの拡幅が進められているが、市や開発公社の土地があり、地区センターもセットバックして建設されている。できるところから始めたらどうか。

・国道と歯科大通り線の交差点の渋滞が大変である。右折レーンの設置をして欲しい。

聴覚に障害があると、(クラクションの音など聞こえないため)周りに迷惑をかけていないか心配になる。

#### A 横沢議員

・塩尻市の幹線道路は、国道19号と東西幹線が南北の柱であり、東西を結ぶ道路は立体交差等でほぼ整備が進んでいる。東西幹線の整備率は、30~33%ということで、今後の早期整備が課題と捉えている。現在第五次総合計画を策定中であるので、その中でも位置づけられるよう努力していく。

#### A 牧野議員

・歯科大通り線の渋滞は、市当局も十分承知をしている。信号の改良が考えられる。交差点の改良は、地権者の関係も出てくる。対策を担当課に要望していく。

### Q3 市民

・旧高出保育園の跡利用について、現在物置状態になっている。現高出保育園の子どもたちも付近の木陰であそんでいる。東通線の拡幅とあわせ、ミニ公園にしたらどうか。

・高出地区(東)では、子どもたちが安心して遊べる遊具のある公園がない。人口何人に対しこれくらいの公園が必要といった基準はないのか。

#### A 金子議員

・塩尻市の人口一人当たりの公園面積は平均を上回っている。しかし、空港南の公園を含んだ数字で、それを除けば平均以下となっている。

#### A 牧野議員

・企業等が住宅地を開発したとき、開発面積に応じ、緑地を設けなければならないという規定はある。人口何人に対し公園を作りなさいという規定はない。当地区付近の開発地を見ても、大規模のものはなく本当の緑地程度のものだ。大きな区画整理事業があれば、2・3の公園はできるが、1反歩を2・3件というような小さな開発では大きな公園にはならない。

・旧高出保育園については、地元でどうしたいか揉んでもらったほうが良いと思う。具体的に利用方法について検討していただく組織を作っていただき要望を上げて欲しい。

#### A 永田議長

・保育園閉園後の跡利用については、地元の皆さんの要望を最優先している。要望がなければ、利用希望者を募るとか、更地にして売却するなどしている。とにかく地元要望最優先にしているので、地区をあげて跡利用の検討をお願いしたい。

### Q4 市民

・高出地区は人口が増えているが、偏りがある。市街化調整区域の人口増対策が必要だが、調整区域の見直しについてどうか。松本市では、市街化区域に隣接していれば、一定の条件はあるが編入が認められる。塩尻市は、人口が少ないので、市で判断することはできないが、地方事務所に申請すればできると聞いている。

#### A 牧野議員

・カインズホームの北側が特定保留区域に指定されており、いつでも区画整理ができるようになっていたが、都市計画審議会指定からはずされてしまった。野村の特定保留区域もはずされ、げんば大橋の西側に開発地域ができた。言われるとおり、高出も分区以来、人口の偏重があり、区の存続にもかかわるという話を聞いている。東通線を中心に土地利

用を考えていくことが重要で、将来の高出を考える上で、どうにかしなければならぬ問題と捉えている。また、地元の皆さんが動かないと、どうしようもないので今後そのような機会を設けていただければ、いっしょに取り組みたい。

#### Q5 市民

・分区以降、インフラ整備については良くなってきたという実感がある。大規模の開発ではインフラも整備されているが、民間の小規模開発に問題がある。地元でも事前に把握できるものについては、市に情報を提供して対応をお願いしているが、市のほうも放置せず対応してもらいたい。

#### A 横沢議員

・小規模開発については、個人のプライバシーということもあり、情報の提供は困難な面もあるが、担当課がしっかり対応し、後々地域の皆様にご苦勞をおかけしないよう、言っていきたい。

#### Q6 市民

・比較的新しい家ができてきている一方で、空き家が増えている。有効利用を考えて欲しい。また、日常的なコミュニティの場として活用できれば、いろいろな提案もしてみたい。予算的なことも検討して欲しい。

・空き家バンクで対応との事だが、まだできていないではないか。防犯上の対策として早く立ち上げるべきだ。

#### A 横沢議員

・市に空き家対策の部署があり、ホームページで物件を紹介し、都会の人に移り住んでもらうということをはじめた。

・空き家バンクはすでにできており、ホームページに現在2件登録されている。防犯面での対策は、一般質問などでも取り上げられ、強く対策を求めている。

#### A 永田議長

・議会としては、条例を作って、ある程度強制的に所有者に適正な管理を求めることを進めることが必要だと考えている。通知文等を送っただけでは効果がない。条例制定を進めたいし、行政でも現在研究中である。

#### Q7 市民

・防災対策について、高出地区では地区として防災訓練を実施する。消防防災課で視察指導をお願いしたい。市・議会・地域で継続的に実施することが重要だと思うので、積極的な支援をお願いしたい。

・土砂災害について、田川沿いに、急傾斜地警戒区域がある。どの程度減災の対策ができるかわからないが、恐らく何も考えていないと思う。検討と対策が必要ではないか。また、目に見える防災対策は地域住民もやるが、地盤調査などは検討して欲しい。

#### A 牧野議員

・防災訓練は、私も参加する予定なので、必要なことは伝えていく。

#### A 横沢議員

・高出地区の地盤は強いと思う。まずは、地域の皆さんが、関心を持ち、日頃の行動の中で異変を感じていただき、市へ通報していただき対策を求めるのが最も説得力のあるやり

方だと思う。

- ・地盤調査等は、担当課に投げかけてみたいと思う。

## Q 8 市民

- ・ゴミ処理共同化について、ゴミ処理手数料が松本市と違うが、今後一緒になっていくのか。

### A 永田議長

・(共同処理化の説明)塩尻朝日衛生施設組合でごみの有料化が導入されており、松本市は無料となっている。ご負担いただいている有料の部分はすべて、ゴミ処理費用に当てられている。その分が、市の一般財源から出さなくて良いということになる。なお、共同処理により、年間7,800万円の経費が削減できることや、塩尻クリーンセンターの解体も新組合で行うことになっており、旧組合で解体するより負担は少なくなるというメリットもある。

## Q 9 市民

・ふれあいセンター広丘について、当初の計画と目的や内容が違ってきている。進め方も、当初は、地区で説明会を持って要望を聞くということだったが、今は、市にワーキンググループを作って検討するといったことで、ニュアンスが変わっている。内容についても、ふれあいセンター洗馬をイメージした内容に加え、東日本大震災のような大災害も対応できる施設との提案に対し、賛同する答弁をしている。この状況の変化に、地区としてどのような行動をとればよいか。また、議会としての取り組みをお聞きしたい。

### A 宮田議員

・8月に議会に報告のあった内容は、旧桔梗荘跡地を社会福祉協議会に今年中に売却し、来年、社会福祉協議会が建設。26年4月に、現在もあるが、つくしの郷の新設をするといったもの。同じ敷地内に仮称ふれあいセンター広丘の建設の予定をしており、課題解決型の福祉活動に向けた地域住民活動の推進拠点、認知症サポートセンターと介護予防事業の推進拠点、災害時の福祉避難施設という3つの柱を持ったものを作ろうということになっております。市内を3圏域に分け、福祉拠点整備をしていこうとの基本に基づき、北部圏域の拠点として計画している。今年度は実施計画中ということで、職員の中でワーキンググループを立ち上げ、どういった施設にするか検討中である。区長からの要望も含め検討されている。来年度は設計、26年度建設ということになっている。

### A 牧野議員

・いろいろな問題があって、以前、高出・広丘地区の老人会で陳情をしている。ぜひ憩える場所にして欲しいというようなことで、その時は市長も大変良い返事をした。その後、どこか線を間違えて、ワーキンググループで検討というようなことになった。詳細設計に入ってしまうと、難しいので、今のうちに地区で話をしてもらって、広丘地区も含めた総意を固めていただき、積極的に働きかけをしていったほうが良いと思う。期待にそえるようがんばっていく。